

どのような方途を講ずればよいか

次のページから
お読みください

イ、館長と兼任の理事者の発言
 社会教育の重要性は充分認識しているが地方財政の窮乏から仲々思うようにはいかない。公民館は行政と表裏一体となって住民のパイプ役になってもらいたい。

ロ、一般発言
 認識が充分でないので出来るだけ婦人学級、市庁学級等の講師助言者として出席してもらい認識を深める必要がある。

一般に教育長、社会教育課長が、理事者の理解と認識を深めるための努力と熱意が足りないのではないか。公民館職員がどうあるべきかの反省がなされるべきではないか。

ハ、助言
 理事者の公民館に対するイメージが低いもの(例えば公民館を単なる集会所が講堂ぐらいに思うような)になっている。

理事者に対して公民館人としての働きかけが足りないのではないか。もっと正しい公民館のあるべき姿を理解してもらうような企画がなされるべきである。

Ⅱ 専任職員の義務設置について

主な発言
 職員の問題はいつの大会でも討議されているが、なかなか実現困難であるので義務設置の法制化の必要がある。

地方財政の窮乏はどうしても予算権をもたぬ教育委員会にしろよせがきています。

教育委員会では義務教育である学校教育にどうしても重点がおかれ、結局は最後のしわよせが社会教育にきている。

助言
 職員の法制化の問題は全公連として実現するまで継続して努力すべき問題と思う。地方財政の窮乏は税制の改革等抜本的な解決策を要するべきである

Ⅲ 公民館職員の専門化を前提としての職員研修の方法について

主な発言
 我々の今迄のやり方は住民と遊離した行事に走ってはいないか。

もっと住民と直結した事業活動をする必要があると思う。その為には専門職となる前提のもとで我々自身ももっと研修を深める必要がある。中央で公民館主事となるための単位を定めその研修を終了したものを任命するという方法がとられれば職員の資質も向上すると思う。

その研修は国、県あたりで考えて貰いたい。また専門職とすれば町村相互間の異動ということも考えられなければならないと思う。

助言
 現在の公民館職員の仕事のやり方は素人でも少し馴れば出来るというようなものではない。もっと専門的な高度の技術を身につけるように研修の必要があると思う。今年から国立社会教育研修所が開設され社会教育関係職員の専門的技術的な研修が行なわれることになっているので大いに期待されるのではないか。

町村相互間の職員の異動は新潟県では既に実施されているようである。



〔全国の同志三千名が集う・佐賀市体育館〕

(ニ) 市町村社会教育委員の組織活動の強化
 等のが発表された。

ロ 家庭教育については、独自の領域ではないが、学校教育や社会教育の中での一つの分野としての課程形成の意味も考えられる。

しかし、家庭教育は社会教育の中にはいっているものとする。

ハ 住民の利益と、福祉を増進する豊かな町づくりや、村づくりを進めるためには、町ぐるみ、村ぐるみの体制に展開したい。

ニ 地域課題を解決する社会教育を展開するためには、住民の自発的な問題意識をとらえ、その要求をすいあげるような形で進めていくべきである。

ホ 住民の社会教育については、教育ならざる分野においては、公民館の本質を考える必要がある。

社会教育は教育機関としての活動であり公民館施設の利用に供するものである。

ヘ 総合的公民館活動の推進とは、公民館活動の方法の能率化である、そこで公民館活動の方法を考えることが必要になる。

ト 総合的推進をはかるためには、まず総合計画の立案が必要で、それができればそこに重点をおき、10割社会教育活動にまで高め、公民館活動のマンネリズムを打破することが大事になる。

2. 公民館の果たすべき役割
イ 地域の組織化と活動の徹底、地域住民のためにより幸福になる生活技術をとり入れていくのが公民館活動ではないか。

ロ 自発的学習集団の育成、民衆が自分達の問題を自分たちでとりあげ、その意欲が総合された教育であるのかのぞましい。

ハ 住民が何を要求しているか、どのようにして公民館は住民の福祉を増

第3分科会

—研究主題—
**社会教育を総合的に進めるため—
 公民館の果たすべき役割**

司会者	奈良県社会教育主事 百地保次郎
	東京都国立町公民館主事 徳永 功
助言者	文部省社会教育官 高橋 真照
	大阪女子大学教授 山吉 長
出席者	405名
記録担当者	
責任者	佐賀県白石町社会教育主事 小川 十郎
記録係	佐賀県山内町公民館主事 大宅 孝
	佐賀県白石町公民館主事 田中 敏雄

1. 社会教育を総合的に進めるには公民館はどのようにすべきか

イ 社会教育の意義や公民館のあり方の再検討をする必要はないか。

この問題について、社会教育は、学校教育を除いた場で行なわれる教育であり、住民の人間形成の活動である。

すべての国民に対して特に社会教育活動の組織的な活動を行なうものであり、何らかのかたちで組織され、あらゆる機会をとらえて教育の機会をつくらなければならない。

地方公共団体の社会教育活動には、施設活動の強化をはかることが必要で

- (イ) 社会教育団体の育成助長
- (ロ) 学級講座の開設運営の管理
- (ハ) 社会通信教育の制度と活動

公民館は地域的住民のよりよい生活を築くために

速報・全国大会分科会記録

全国大会分科会の記録がまとまった。多忙な大会の中に記録されたものだから不備な点もないではないが、全文を掲載し御参考にする

経営部会

第1分科会

研究討議の主眼点

施設、設備の充実をはばんでいる
要因とその対策

司会者 熊本県社会教育課長補佐 米田喜良久
大塚府貝塚公民館長 荒木 正三
助言者 文部省社会教育課専門員 今井 良雄
西宮市教委教育長 刀弥館正也

出席者 170名
世話係 佐賀県北波多村公民館 宮本 真光
" 呼子町公民館 柴田 嗣男
記録係 佐賀県北波多村公民館 竹下 賢一
" 厳木町公民館 江頭善二郎

補助金の問題について

富山 町で公民館を建設する計画があったが、国庫補助の関係で文部省から、厚生省にかえて福祉会館にきりかえた、このように文部省は財政的に弱い。

群馬 補助率が低い。群馬県では1館50万補助している。

千葉 国づくり、人づくりにすべての面で国がもっと本腰をいれるべきだ
福岡 起債のわくを大中にひろげてほしい学校施設と同じく考えてほしい。

福岡 公民館活動で市、県、国民をもちあげる気持でやっている。

宮城 審議会を県で組織している、これを各県と歩調を合わせて全国協議会にまで発展させて連合体への組織化を進めるべきだ。

助言者文部省今井
補助金の増額については、国の関係機関、関係者、関係団体にも働きかけてやっている。皆さんの援助でさらに伸ばしたい。(起債の目安は国庫補助不足額の70%)

関係法の改正について

秋田 県、ブロック、全国大会で討議し、ある程度前進したが、根本的に法を改正して改める必要がある。

北海道 重大な社会問題である青少年教育を公民館でまとめて進めるべき

である。

司会 このような問題をこの分科会で全体討議に提案し、請願、ちん情運動にまでもりあける必要があるように感じるがどうですか(賛成、挙手多数)
条項別に検討の余地があり、時間をかける必要があるので全公連の専門委員に委嘱して具体的に進めたい。

府県市町村段階における問題について

福岡 予算不足で苦勞が多いと思われるが市長会、議長会等あらゆる機関に強力に働きかける必要がある。

北海道 年次計画で市町村公民館基金振興協会をつくって努力している。

愛媛 一方では年次計画で県費を要求したりしながら、一方では専門委員会によって学校整備と公民館との関連をはかり、公民館の新築だけに頼らないよう努めている。

愛知 熱意がどの程度であるかが重要な問題点である。大会会場で叫ぶだけでなく、市長・議長等に実際にぶつかることが大事である。

福島 町長が熱意をもつことと共に、住民の熱意を盛りあげることが必要である。

助言者(刀弥館)

現状を分析し、阻害の要因等を考察すれば大別して外的要因と内的要因とがあると思われる。金・人・物の不足や関係者の無理解による苦悶等いろいろあると思うが、感じたことは、発言内容に依存的傾向が強すぎはしないかということである。文部省にしても、これを信頼しすぎるのは、どうか。かりに今すぐ義務制が実現するとすれば人も物も不足しよう。従って、地元からまず手をつけるという方向も軽視できぬことである。

次に現在では弱い存在である教育長や委員会の地位を高め、それによって社会教育の前進をはかることも肝要。また、理事者を予算感傷症から解放させたり、完全主義から解放してやる、という方面の努力も必要である。アンバランスを生じると、バランスの必要が痛感され、そこから充実されていくという、螺旋的行政をおしすすめることも大事である。

福岡 住民が意欲に燃え上っているかが極めて重要である。住民の熱意や与論を盛り上げなくてはならない。

秋田 住民の熱意を高めるために、農林事業費と社会教育費とを一体化したことが、非常に効果的であった。

司会 理事者の認識不足・住民の熱意高揚・在米施設の利用・主事の熱意実働・設備の整備等、問題点は大体において、それらの項目にまとまったようである。ここで、助言者の総まとめを願いたい。

助言者(今井)

熱心に討議されたことを感謝する。我々はこの熱心な会議の内容については、じゅうぶんに反省をやっている。たとえば、施設をばば必要因として、補助金の問題・起債・年金等々の問題があるが、我々は必ずこの研究をつづけ、これが早急の実現をはかる。

なお、社会教育費は地方交付税の中にも含まれているので、有意義に活かしてもらいたい。

また文部省が設置している研修所などは、大いに利用し、活用されたい。

助言者(刀弥館)

西宮市が社会教育の実をあげたのは、政治的活動もまた大きな力となっている。また住民の熱意もあったからである。

公民館はデラックスである必要はない。大きいこと、広場をもっていることなどは、望ましいことである。

職員についても、いろいろ問題点はあるが要は生きたつかい方がたいせつである。

現在は、社会教育に関する熱意や意欲がもりあがりつつあるので、昭和41年度は明るさを感じられ、希望や期待がもたれる。

全体会議への提出議題

職員の専門化を前提とした資質の向上をはかるための研修の方法はどうか(経営部会)

第2分科会

常勤専任職員の充実をはばんでいる
要因とその対策

司会者 三重県社会教育主事 伊藤 春生
大分県別府市中央公民館長 二宮 楷繁
助言者 文部省社会教育課専門員 中島 俊教
山口県公民館連合会長 稲田 正治

出席者 82名
記録担当者
責任者 佐賀県杵島郡北方町 合六 信男
記録係 佐賀県杵島郡大町町 中島 義人
佐賀県杵島郡山内町 山口 敏一

I 公民館に対する理事者の理解を深めるために

分科会記録

前ページからの続き

広報活動により住民の理解解力による活動を展開し全体的なレベルアップの教育機関として発展していくという意味の発言があった。

「舞子問題」についての論議の中で特筆すべき点としては、学校教育と社会教育の根本的な相異の再認識が必要で、そのうえに、立てての活動内容の考慮の要請もあり、公民館は調査活動や学級、講座の開設や、調査結果の広報による末端教育や、既存グループの活動内容の紹介による新規グループの育成方向等についての発言があり、最後に婦人問題やPTAについての討議に入り、PTAの木質論についての発言があった。

特に要望事項として厚生省等他の機関は末端関係者に資料提供が敏速に行なわれるが、文部省はその点が全く不徹底である。すなわちこの前、発表された「社会教育白書」は早急に末端関係者に徹底するよう配慮されたい旨の強い要望があり分科会を終った。

第5分科会

(農山漁村地帯)

第4分科会と同じ

司会者	新潟県社会教育主事 五十嵐久男 広島県矢野町公民館主事 安原 昇
助言者	佐賀大学教授 佐藤千代吉 鹿児島県社会教育課長 新納 教毅
出席者	270人
記録者	世話係 三神教育事務所主事 原 清一 記録係 中原村公民館主事 有馬 実 三根町公民館主事 菅原 一道

1. 成人男子のとらえ方

多忙で社会教育への関心のうすい成人男子をとらえるためには、もっと成人男子の希望にマッチした課題をとらえる必要がある。実態調査を通じて基礎的な資料をもち、計画的な学習のつみあげが必要である。

成人男子の教育は、尙田ぐるみの教育の中で高めるがよい。

男子成人のとらえ方として、手はじめに部落内の隣組制度に目をつけ、その組織を利用して成人教育を行なっている。

14年前から青年の国内研修を実施し、現在では100名を越えている。これらの人達も漸次壮年になった者もあり、これらが成人教育の推進力となっている。

青年団OBを中心としてグループをつくり会をもつようになったので、そのグループに働きかけ、成人教育を行なっている。

国民体育大会など、大きな事業を控えるとそれに対する住民の関心が深まるので、それに関連する内容をもって、成人教育推進のきっかけとした。

成人(オヤジ)の教育はどのようにもって行くべきかについては、紙上論でなく、生活主義と市民主義、即ち生活の中で教育を高める必要がある。

男子成人だけでは殺風景になるので、料理講習などを聞いて、男子女子一緒に学習するにしたら、男子の出席がよくなってきた。2.成人男子をとらえての学習内容と方法地域の発展のため、地域開発の問題、農業構造改善事業の問題が大きくとりあげられ、公民館でその問題をとりあげての、成人教育の成功した例や失敗した事例が数多く発表された。

長野県では農業大学を開設し、対談方式をとり、2年後の今日では、みんな意見交換をするようになった。

山梨県では、農政連、農協長などを迎え、3年目頃から、発言が多くなり、戸数の4分の1、100名程度が参加し、60回、開催している。

成人教育として趣味を中心としたグループ学習が主で、学習目標や内容に系統性がなかったとの発表もあったが、成人教育では、もっと身近な問題、内容を主題として、町政の問題とか、健康の問題家庭の問題、生産性向上の問題などの生活課題をとりあげる必要があるとの意見が多かった。

成人男子は複雑な社会機構の中にあつて家庭人として、職業人として、生活のない手として、地域住民としての生活部面をもっているのので、その生活課題を科学的な方法によって調査、分析を行ない、成人教育の学習条件を整えるべきである。

成人教育の振興上、目前の生活上の問題の解決も必要であるが、成人も社会の一員として、まず市民として市民性の高揚がなければならない。そのため一般教養も習得する必要があるとはいかないかの助言者の意見があった。

3. 婦人教育の問題

一般的に固定されがちであり、また共かせぎが多くなり、夜間学習でなければならなくなったので、小グループによる学習が必要である。

めぐまれた婦人は参加するが、他はあまり出席しない。したがって参加者の確保についても、問題が残されている。

新潟県では若妻会をつくり、嫁とし

ての学習を進めている。

婦人の出稼者の多くなった理由として、自由な金が欲しいこと、気まずい家庭からぬげだしたいこと、また嫁と老人の関係もあるので老人の役割、教育等の対策が必要である。

4. 共稼ぎ、出かせぎと公民館

最近の農山漁村では、共稼ぎ、出かせぎで家を留守にする成人が多くなりつつあり、そのため子どもの教育や、家庭内の人間関係が壊れてきている。こうしたことは、子どもは老人にあずけることにより、幼児期の子どもの教育やしつけなどの問題がでてきている現状であるので、こうした事態に公民館はいかに対処すべきかが問題であろう。

また、新潟県新発田市の農業高校生徒の調査によると、どうしたことで出稼ぎにいくか、

その原因としては、消費生活の考え方の変化があり、農山漁村では封建性が強く、若夫婦は金が自由にならないとか、いつも家には姑、こじゅうとと気まずい思いをすることが多くこの出稼ぎにゆく人が多くなり、その防止解決策の特効薬はなかなか見つからないとの意見も、2、3人から出ていた。

一方以前から住みなれたわが家に居ずわっている老人問題をどのようにとりあつかっていったらよいかも問題として出されたが、平均寿命がのびた現在、老人層も多くなり公民館として老人対策にも力を入れるべきであり、さらに家庭の人間関係として、老人と親子の関係、考え方の改善も要求されているので、これからは老人の役割と老人のあり方について研究し、対策を講ずる必要がでてきたとの意見もあった。

以下次号

全国公民館名簿

B5判500ページ 上製本
定価 700円(〒90円)

- 全国都道府県公民館名簿
- 全国公民館の概況
- 公民館関係諸統計表
- 文部大臣表彰優良公民館一覧

発行所 全国公民館連合会

申し込み 新潟県公連事務局



速報・全国公民館大会

〔社会教育官・大学教授5名による分科会所見発表〕

よにして考えなければならず特に成人男子の場合職場等で相当な教育を受けている関係上高麗な内容をふくむ公民館活動が要請され、かつ魅力あるものでなければ参加しないのではないかという意見が出された。また成人男子は青年、婦人にくらべ生活上の問題や経済的な関心が伴うので公民館活動の中で政治活動と政治学習の区別をはっきりして、このことについての学習が要求されるが公民館は上の二つの区別を明確にすべきであるという政治に対する学習課題の提起があった。こんごにおける具体的活動の中では、公民館単独の行事に止まることなく地域社会に存在する、例えばライオンズクラブや文化関係団体さらには商工会議所等の諸団体との共働によって社会教育を進めることが必要で、より多数を集めるというねらいのみを主眼とせず、少数でも数多く回を重ねて展開していくというねばり強い姿勢の必要性も強調された。そして公民館活動の終局の目的とねらいは市民性の涵養ということに達まなければならない。

また、地域の発展を主目標とした公民館では当然地域性をヌキにしては発展しないという面から地域の課題発見により地域における問題を取り入れた活動内容とし、公民館は地域における課題の承先案内人の立場をとる必要があり、そのためにはあらゆる施設、設備の提供が必要であるという指摘があった。

以上、成人教育をはばんでいる要因と公民館側の姿勢について論議が交され、そのうえにたつて今回の基本目標である「事業内容」の討議に移った。

この中では主として ①社会教育と学校教育との関係、即ち、社会教育の中心である公民館と学校との関係は切り離すことはできず時にこんにちの社会の複雑化と加速度的に発展する都市化の中での「鍵っ子」問題が表面化した中では、よりいっそう学校との協力体制の重要性が強調された。そして公民館と学校が1体となり子どもを中心にして地域ぐるみの教育、さらには ②家庭教育への発展が要請された。

③次に成人教育の中での老人クラブの位置づけについて発言があり、組織育成面と老人把握、教育、運営さらには事業面についての行政上の主管について問題点の指摘があり、公民館と社会福祉の分野について論議が交されたが、助言者から要約すると次のような助言があった。

△ 公民館は社会、学校、家庭或は各種団体同様に個人の人間関係を媒体としての学習の場である。

△ 全体の力を結集しての調査活動や

3 ページから続く

進するためのものであり、地域社会の一つの構成要素である。

二 公民館が主体的機能を発揮するには、文化的リーダー養成が必要である。

ホ 家庭教育学習級については、住民の意見を聞くことが必要であるが、社会教育委員会公民館運営審議会等の意見は、天下りのものが多いようで、住民の意見がとりあげられていないような気がする。

ハ 公民館の講座は、特定の講座になってはいないが、現在の活動は上を向きすぎた指導がされてはいないか。反省の必要がある。

3. 公民館の事業内容

イ 公民館の事業は主体的に実施するとともに連絡機能を密にして、施設の機能を発揮すると共に、住民の要求により出発することが必要で、その活動は、住民に周知される、プロセスが問題になる。

ロ 公民館は、場所を提供し、問題発見の糸口を出させるため、実態を調査し、盛り上ろうとする住民の芽生えをその活動にとりいれていく。

ハ 各機関団体の行事の調整をはかること。

二 公民館の仕事の分野についての検討を要する。

ホ 住民の声があるけれども、職員の不足で事業としてとりあげることができないことが多い。

成人教育部会

第4分科会(都市地帯)

一成人層を対象とする事業の内容と方法

司会者 兵庫県西宮市中央公民館長 森山 好夫
長崎県教育委員会社会教育課長 松本 英照

助言者 大阪大学教授 駒田 錦一
出席者 181人
記録 佐賀県唐津市教委社会教育係 伊藤 愛実
佐賀県鳥栖市教委社会教育係長 長 定壽
佐賀県鳥栖市教委社会教育係 中川原武久

第4分科会のテーマは「成人層を対象とする事業の内容と方法」であったが、昨年度の討議の関係もあり、司会者から次の5点についての討議の柱を設定したいという、提案があり出席者の同意をえて進められた。

- ① 成人教育をはばんでいる要因
- ② 成人教育にとり組む公民館の姿勢
- ③ 成人教育を進めるうえでの事業と内容
- ④ 婦人学級など婦人教育
- ⑤ PTAを中心とした家庭教育

第1項から討議に入ったが、まず、成人層の社会教育に対する機会が得にくい状態である点の指摘と即ち婦人は家庭における子どもの教育で機会を得るのに困難性があることの指摘もあった。特に成人男子の場合、職域的意識が強く地域住民との接しよくが少なく連帯性に欠けており、都市化するにつれその割合は著るしいし、都市においてはいわゆる「ドーナツ型」の典型を示している。従って、種々の行事に対しての集まりが少ない点や、いっぽうこんにちの地方行政自体が中央集権化されているえいきょうもあり公民館に対する、法の規制やその機構も必然的に中央集、地区館という方向で集中化され、施設、設備をはじめ活動においてもその様相を呈しているため地域住民の公民館活動への参加が困難視される向きもあるということや、公民館職員が「役人的」であっては精神的にも頼りず対象者がついてこないという職員に対する指摘などがあった。

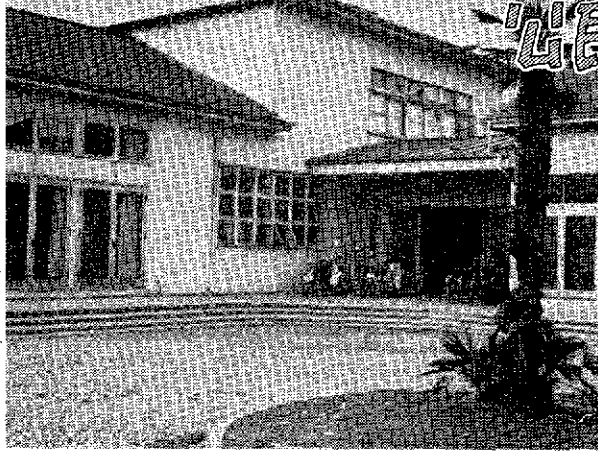
第2項の中で特に取り上げる点としては、成人男子の議柱を設定したいという、提案があり出席者の同意をえみでなく婦人、青年等すべてをいっし

公民館ひろいある記

伝統ある見附市公民館の巻

全国表彰当時より優秀な運営

刈谷田川の歴史的敷地が織り交織物の町見附教育課長を通じておいたもので、水と、豪雪に市。この原動力として建てられたいたげられ続け見附中央公民館は、三十二年度全の見附市。その設備、全国準優良、三三年度全交納を滞りなく、優良公民館として、二年連続文の力を克服して、部大臣賞をうけられた。当時の館起業者は住民。長丸山直一郎氏は県公民館連絡協ねほり強さと堅議会議長、ベテラン松本主事は県内表の越後人の特公民館職員のリーダーであった。徴をこの町の人この栄誉ある公民館こそ、よく知々にも見出す。訪りたいと記者は喜んで訪問した。近代的感覚と現、訪問の意を、前もって皆川社会



【見附市中央公民館】

今町公民館は、建物面積四五二平方米、鉄筋二階建ての堂々たるものであり、館長は非常勤ながら、大島順正事を中心に、二人の専任職員を持って、青年講座、あすなろ青年講座、団体育成講習会、生活文化講座等、青少年層から成人までの系統的学習を実施している。豊善、新潟も独立村時代から公民館活動の活発な所であり、現

見附市の公民館は、中央、今町、新渡、新潟、北谷、上北谷の六館併立で、町村合併による統合型大流行の中に、地域住民を主体とした公民館経営は申し分ない形である。しかもその中、中央、今町、新渡、新潟の四館は独立館を持ち、専任職員は全館におかれている賦(にうらやましい)限りである。運営は、あの明瞭な頭腦の皆川社教課長を軸として、ある点は市内共通に、ある点は地区館長に任せ、地域の特性を生かす妙法を得ている。さすがに白黒市長、市川教育長の教育優先の目標と、青少年育成こ



【紙とペンまで備えつけてある受付 (見附市中央公民館)】

そ見附中を発展させる道という考えがかわれた。中央公民館と今町公民館見附市公民館の総てを記す余裕がないので、中央公民館や、今町公民館の片鱗を紹介しよう。

見附市の社会教育重点施設の中に家庭教育級、青年学級婦人学級を中心として人間の成長段階における学習の確立をはかるとある。この具体的あらわれとして青年の教育を見た。青年学級は、本年中をもちしちも市民が準義務的に学級を対象として開級、百余名

の希望者を得ている。該当者の七、八割、六、七百日を利用してその全館に誇り得るものであろう。学級が開かれてい一例を青年教育において、成長段た女子五十名ばかりに、地域教育にもこの配慮が用いられている。すなわち、一般成人、地域教育にもこの配慮が用いられている。すなわち、一般成人、R、J、A婦人、その外「働く婦人の家」の施設に協力して、働く婦人の講座も公民館が手をさしのべている。希望するものは、人もあまたま教育の機会を享受しているといつてよい。しかも、このグループの学習に入れない人

高校卒の青年は「つくし会」という名で講座を持っていた。この一連の青年学級の中に、成人となつた年は、成人講座、十数回が織り込まれてあり、二〇〇という時点で、青年自覚と反省を促すよう、おさそいすることは、特筆されるべきことと思つた。成人の日のだけの催しではならないことを考えて、各地で成人講座のものは、行なっているが、本市の如く伝統がなされていることは、本市の、中央と同寺の施設、設備、運営がなされていることは、本市の公民館に対する理解と、関係者の努力がうかがわれた。

「公民館は発定当時は違つて、何でも主義ではなならない。それに、市でビジョンを持つ、その中のどの部分を公民館が受け持つかの目標を定めて運営すべきだと思うが、それには人手不足である。職員一人一人が受け持つの専門を分担して、責任体制を持つ、それが館長の下に有機的に連絡されて連

現状と課題
A・二九二頁
無一五〇・千七〇

○戦後、著しい発展を遂げた社会教育の現状を分析するとともに、将来の課題を明らかにし社会教育の意義と役割の重要性を再認識しようとする注目の教育白書

○この白書は、これまで従属的に取り扱われてきた社会教育のいっそうの前進を総合的、計画的に行なう必要性を強く主張した、現代社会の発展に答える注目の教育白書である。

主要目次

- 社会教育活動 その1
- 社会教育活動 その2
- 社会教育施設
- 社会教育指導
- 社会教育関係団体
- 社会教育費
- 社会の進展と社会教育の課題

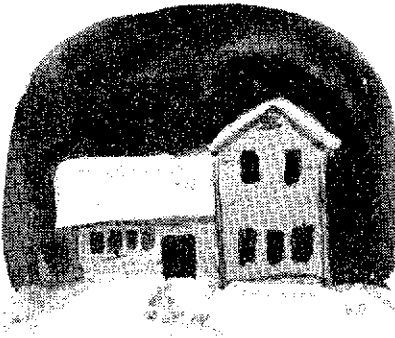
付属統計表
帝国地方
行政学会

地方に図書館を増設

カギっ子対策にも力点

文部省は従来、学校教育の充実強化に比べて比重の軽かった社会教育を拡充する考えから、四十二年度から、社会教育施設の整備費を大幅に増やし、文化行政の浸透、地方教育水準の高揚を図る方針である。とくに本年度からの新規計画として留守家庭児童会(カギっ子対策)育成事業が家庭教育の振興面でも出現したのをほかに、県・市立図書館、農村モテル図書館の整備、国立青年の家と並行した公立青年の家の大々的設置、地方青年教育センターの設置など、前年度に比し二倍から数倍におよぶ増額を図る方針で、これが実現すれば沈滞気味の地方文化、社会教育行政のうえに、かなりの成果があらざるものとみられる。

(日本教育新聞による)



小柳 耕 司

この中でとくに期待されるのは公立青年の家の整備で、四十二年の目標としては未設置県をなくすることが第一の眼目。公立青年の家といふのは、国立青年の家より規模が小さい県あるいは市、組合あわせて考案している。

また、従来の公立青年の家に国立の宿泊定員四百人と比べ平均七

十人(建て坪二百六十坪)で数多くの利用者に活用し切れないので四

このほか、公民館整備は百七十館を増設、設備費補助も映写機、銀幕機、キッチン等に対する四分の一補助率を三分の一に引き上げ

あ と が き
今月は全国大会分科会結果の発表としました。宣言原稿文を見れば、問題点が至極かんたんに要約され、要旨とすることができてはいますが、これまでの道程で追究されてきた課題のなかで複雑な問題がますます多いようです。分科会の記録をよくお読みいただきたい今後の展開については、いろいろ御考察をいただければ幸いです。

半数が出かせぎに

在町青少年の実態調査

南魚塩沢町

南魚塩沢町教育委員会は七月十日から在町する青少年の実態調査を行なっていたが、このほど結果がまとまった。この調査は少な

日からの在町する青少年の実態調査を行なっていたが、このほど結果がまとまった。この調査は少な

次に社会的関心を新聞の園遊傾不安である遊歩時間や場所が不

最後に公民館に何を望んでいるかについては、体育レクリエーションやつづみ、生け花、料理などの講習会、一般教養としての講演会や

御期待ください。では、よいお年をお迎えください。(本)